

1.適用範囲 この規格は、圧延した銅及び銅合金の板(以下、板という。)及び条(以下、条という。)(JIS H 3110, JIS H 3130, JIS H 3510 に規定する銅及び銅合金の板及び条を除く。)について規定する。

4.名称、種類、等級及び種類の記号 板及び条の名称、種類、等級及び種類の記号は、表1による。表1の種類の記号の後に質別を示す記号(JIS H 0500 参照)を付けて製品記号(表3及び表5 参照)とする。また、導電用又は圧力容器に使用する場合は、表1の種類の記号の後に用途を示す記号及び質別を示す記号を付けて製品記号(表4、表6及び表7 参照)とする。

表1 種類、等級及び種類の記号

名称	種類		等級	記号	参考 特色及び用途例
	合金番号	形状			
黄銅	C 2801	板	普通級	C 2801 P ^(a)	強度が高く、展延性がある。 打ち抜いたまま又は折り曲げて使用する配線器具部品、ネームプレート、計器板など。
		条	普通級	C 2801 R ^(a)	
	C 2720	板	普通級	C 2720 P	展延性・絞り加工性がよい。浅絞り用など。

5.品質

5.3 機械的性質 板及び条は、7.2~7.4によって試験を行い、その機械的性質(引張強さ、伸び、曲げ性及び硬さ)は、表3による。ただし、曲げ性及び硬さは、注文者の要求がある場合に適用し、曲げ性は、曲げた部分の外側に割れを生じてはならない。この場合、割れの判定の対象にしない端部からの距離は、製造業者の判断による。特に要求がある場合は、判定の対象にしない端部からの距離は受渡当事者間の協定による。また、硬さは、参考値として報告する。

なお、表3に標準的なビッカース硬さ値を参考として示す。 圧力容器に使用する場合は、7.2によって試験を行い、表4による。

表3 板及び条の機械的性質

合金番号	質別	製品記号	引張試験			曲げ試験 ^{a)}			硬さ試験 ^{a)}	
			厚さの区分 mm	引張強さ N/mm ²	伸び %	厚さの区分 mm	曲げ 角度	内側 半径	厚さの区分 mm	ビッカース硬さ HV
C 2801	O	C 2801 P-O	0.3以上 1以下	325以上	35以上	0.3以上 2.0以下	180°	厚さの1倍	—	—
			1を超え 30以下		40以上					
		C 2801 R-O	0.3以上 1以下	325以上	35以上		180°	厚さの1倍	—	—
			1を超え 30以下		40以上					
C 2720	O	C 2720 P-O	0.3以上 1以下	275以上	40以上		180°	密着	—	—
			1を超え 30以下		50以上					

注 a) 曲げ試験及び硬さ試験に関して規定した厚さの区分を外れるものは、試験を適用しない。

1.適用範囲 この規格は、展伸加工した断面が丸形・正六角形・正方形・長方形及びR付正六角形の銅及び銅合金の棒(以下、棒という。)について規定する。

4.名称及び種類の記号 棒の名称、種類の記号、製法及び製法記号は、表1による。

表1の製法記号を付与した種類の記号の後に質別を示す記号を付けて、製品記号とする(表3~表5 参照)。なお、質別を示す記号は JIS H 0500 による。

表1 棒の名称及び種類の記号

名 称	種類の記号	製法	製法記号	製法記号を付与した 種類の記号	特色及び用途例(参考)
快削黄銅	C 3602 B	押出	E	C 3602 BE	被削性に優れる。合金記号 C 3601 B及び C 3602 B は展延性もよい。 ボルト、ナット、小ねじ、スピンドル、歯車、バルブ、ライター、時計、カメラなどに用いる。
		引拔	D	C 3602 BD ^(a)	
	C 3604 B	押出	E	C 3604 BE	
		引拔	D	C 3604 BD ^(a, d)	

5.品質

5.1 外観 棒の外観は、仕上がり良好かつ均一で、使用上有害な欠陥があつてはならない。特に要求がある場合は、欠陥の基準は受渡当事者間の協定による。

5.2 化学成分 棒は、7.1によって試験を行い、その化学成分は 表2による。

表2 棒の化学成分

種類の記号	Cu	Pb	Fe	Sn	Zn	Al	Mn	Ni	As	P	Si	Sb	Bi	Cd	Se
C 3602 B	59.0~63.0	1.80~3.70	0.50以下 ^{d)}	d)	残部 ^{a)}	—	—	0.20以下	0.02以下	—	—	—	—	—	—
C 3604 B	57.0~61.0	1.80~3.70	0.50以下 ^{d)}	d)	残部 ^{a)}	—	—	0.20以下	0.02以下	—	—	—	—	—	—

1.適用範囲 この規格は、展伸加工した断面が丸形・正六角形・正方形・長方形の銅及び銅合金の線(以下、線という。)について規定する。

4.名称及び種類の記号 線の名称及び種類の記号は、表1による。表1の種類の記号の後に質別を示す記号を付けて製品記号とする(表3 参照)

表1 線の種類及び記号

名称	記号	参 考 特色及び用途例
黄銅	C 2700 W	展延性・冷間鍛造性及び転造性がよい。 びょう、小ねじ、ピン、かぎ針、ばね、金網などに用いる。

5.品質

5.1 外観 線の外観は、仕上良好かつ均一で、使用上有害な欠陥があつてはならない。使用上有害な欠陥の基準は、製造業者の判断による。

ただし、特に要求がある場合は、欠陥の基準は受渡当事者間の協定による。

5.3 機械的性質 線は、7.2によって試験を行い、その機械的性質は、表3による。

表3 線の機械的性質

種類の記号	質別	製品記号	径又は最小対辺距離の区分 mm	引 張 試 験	
				引張強さ N/mm ²	伸び %
C 2700 W	O	C 2700W-O	0.4以上 20以下	295以上	20以上